

「やすらぎの森の健全な森づくりに関する覚書」を締結しました

多治見砂防国道事務所

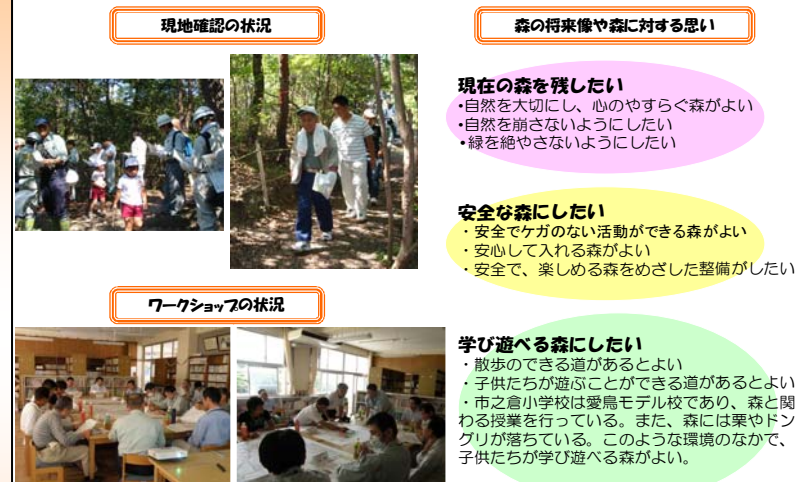
3月25日（金）多治見市役所にて、「里山砂防をすすめる会」が行うやすらぎの森の健全な森づくりを進める活動を支援し、流木化するおそれのある倒木・枯木等を撤去し被害の軽減を図る事を目的に、関係する土地の地権者、里山砂防をすすめる会、多治見市長、国土交通省多治見砂防国道事務所長が覚書を締結しました。

① 多治見市市之倉地区 やすらぎの森



市之倉地区は、古くから土砂災害に悩まされ続けており防災意識の高い地域です。
また、「やすらぎの森」では市之倉の子どもたちの遊び場や地域の皆さまの憩いの場となるよう地元の方やPTAが中心となって平成15年より整備がすすめられてきました。倒木等を除去する樹林の整備は土砂災害の軽減や災害時の流木抑制にも効果があり、安全・安心な街づくりにも役立ちます。

② ワークショップ開催状況・結果



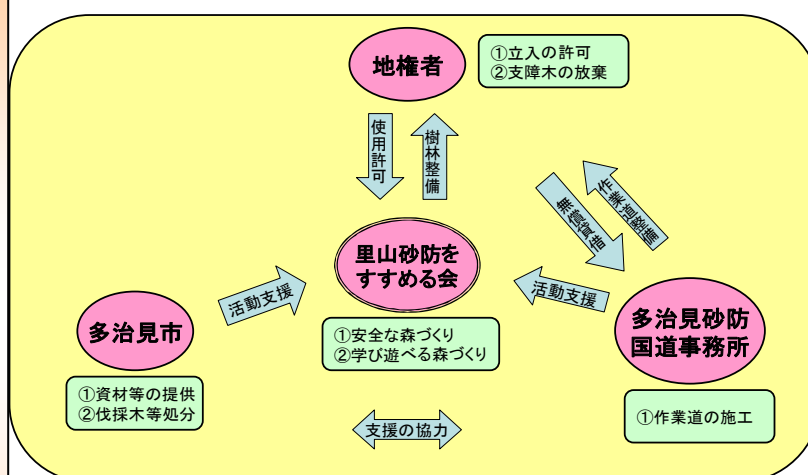
ワークショップでは今後の整備の方向性として、現在の森を残し「安全な森」、「学び遊べる森」とする目標が立てられました。
また、活動範囲を広げるにあたり、倒木等を森から安全に持ち出すための作業道の整備が望まれました。

③ 里山砂防事業の進め方



「やすらぎの森」では今後の整備の方向性や課題について、平成21年より地元の方やPTA等が中心となってワークショップを立ち上げ、議論がされました。
また、引き続き整備をすすめるため、「里山砂防をすすめる会」を立ち上げられました。当事務所においても、熱意のある活動に対し支援を実施することとしました。

④ やすらぎの森の健全な森づくり 実施方法



今後、里山砂防をすすめる会やPTA等がすすめる「やすらぎの森」の整備の実施にあたり、土地の地権者、多治見市と当事務所が互いの役割を明確にし、活動を支援していくために覚書を調印しました。当事務所では、覚書に基づき作業道の整備等を行います。「やすらぎの森」の活動がモデルとなり、今後他の地域へと広がって行くことが期待されます。



岐阜新聞 朝刊 平成23年3月26日(土)付掲載



中日新聞 朝刊 平成23年3月30日(水)付掲載